

事務事業名	文化財管理委託事業				担当	教育委員会 文化課 文化財係			
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり				電話番号	0285-83-7731		
施策名	5	文化財の保護と継承				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	真岡市文化財保護条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和42 年度～）			
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4社会教育費	2文化財保護費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	市が所有する指定文化財（史跡・天然記念物）を適切に保存管理し公開するため、自治会や業者に管理を委託する。 管理委託（6ヶ所）：八木岡城跡、山崎古墳群、堂法田遺跡（以上3ヶ所シルバー人材センター委託）、川の一里塚（大沼地区）、太子の笠松（剪定：業者委託）、神宮寺塚古墳（根本第4町会）								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 23年度実績 市と地元自治会や委託業者との間で作業仕様書に基づく委託契約を締結し管理業務を行い、年度末に業務完了報告を受けて委託料を支払う。 24年度計画 前年度に同じ。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 委託金額	千円	862	741	997	972	1007
	イ 委託業者等の数	団体	4	4	4	4	4
	ウ						
	エ						
	オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市有文化財（史跡・天然記念物）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 市所有の史跡数	件	5	5	5	5	5
	イ 市所有の天然記念物数	件	1	1	1	1	1
	ウ						
	エ						
	オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市有文化財（史跡・天然記念物）を適切に保存管理し市民に公開することで、地域の歴史と文化に理解を深める。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 良好に管理されている市所有の史跡数	件	5	5	5	5	5
	イ 良好に管理されている市所有の天然記念物数	件	1	1	1	1	1
	ウ						
	エ						
	オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 文化財を次の世代に引き継ぐとともに市民の文化的向上に資する。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 良好に管理されている市所有の史跡・天然記念物数/市所有の史跡・天然記念物数	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	イ 文化財を大切にしたいと感じている市民の割合	%	93.194.6	95.4	92.3	92.4	95.0
	ウ						
	エ						
	オ						

(2) 総事業費の推移		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	862	741	997	972	0
		事業費計(A)	千円	862	741	997	972	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	24	24	24	32	0
		人件費計(B)	千円	100	97	102	136	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	962	838	1,099	1,108	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市有文化財（史跡・天然記念物）を適切に保存管理するため昭和42年から開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	周囲で宅地開発が進むなど環境が変化し、文化財保護への影響が懸念される。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	契約手続きの簡略化を求める要望がある。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市有の指定文化財の保存管理であり文化財の保護継承に有効である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市有の指定文化財を保存管理し公開するものである。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市有の指定文化財を適切に保存管理するとともに、広く市民に公開することで歴史や文化への理解を深める。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 市有の指定文化財を適切に保存管理する事業である。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市有の指定文化財の保存管理は市の責務である。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 他に類似の事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 市有の指定文化財を維持管理するため最小限の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 市指定文化財を保存管理するため最小限の業務である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市有の指定文化財を保存管理するものである。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							